

PLANETARIUM

プラネタリウム

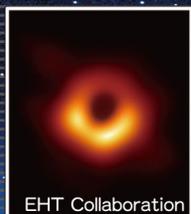
VOL.77



50分の星空さんぽ 今夜の星座解説

テーマプログラム

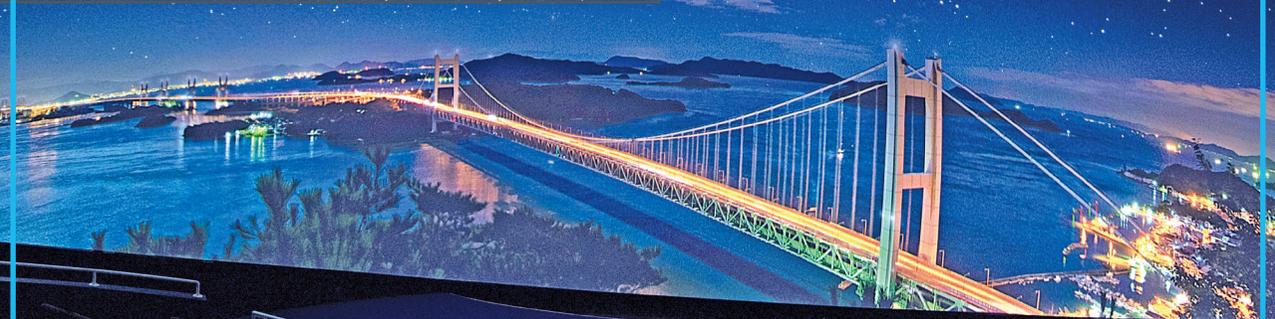
史上初！ブラックホール直接観測



2019年7月12日(金)より

※各プログラムの上映時間は
日によって変わります。

倉敷科学センター Web サイト、
お電話にてご確認願います。



天文王国
おかやま
LAND OF ASTRONOMY OKAYAMA

星数 1 億個 最新鋭ハイブリッドプラネタリウム誕生

KURASHIKI SCIENCE CENTER
倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940
ライフパーク倉敷内 (福田公園北隣)
TEL (086)454-0300 Web: [倉敷科学センター](http://www.ksc.or.jp) 検索

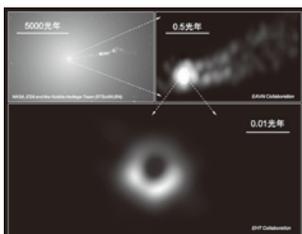
テーマプログラム

史上初！ブラックホール直接観測

星座解説とあわせて約50分 上映期間／2019年7月12日(金)～

！上映時間は日によって変わります。最新情報は倉敷科学センターWebサイト、またはお電話にてご確認ください。

つよい重力のため、飲み込まれると二度と外に出ることができない謎だらけの天体ブラックホール。天文学100年の悲願とも言われるブラックホールの直接観測に2019年4月、ついに成功しました。この快挙の舞台となったのはM87銀河中心の超巨大ブラックホール。困難な観測の鍵となったのは、世界中の電波望遠鏡を連携させ史上最高の視力（解像度）で宇宙を観測する技術でした。



ブラックホール研究の歴史

- 1784年 ミッチェルが光が脱出できない「暗い」天体の存在を予言
- 1915-16年 アインシュタインが一般相対性理論を発表
- 1916年 シュヴァルツシルトが一般相対性理論を元に光が脱出できない天体の存在を数学的に導き出す
- 1967年 ホイラーが「ブラックホール」という言葉を提唱、一般にも定着し始める
- 1971年 はくちょう座X-1/HDE 226868がブラックホール連星の候補となる
- 2004年 いて座A*が天の川銀河中心の超巨大ブラックホールであるという強力な証拠が示される
- 2016年 ブラックホールの合体によって生じた重力波が初めて検出される
- 2019年 ブラックホールの直接観測に初めて成功

新プラネタリウム

2019年3月、大規模なリニューアル工事を行い世界最高品質のプラネタリウムに生まれ変わりました。1億個の星を投射可能な恒星投射機、ドーム全体に巨大映像を投射する全天映像システム、超高解像度10Kパノラマシステム、流星専用投射機など、美しい星空を再現するこだわりの技術が詰め込まれています。



INFORMATION

●観覧料

区分	おとな	高校生	子ども (小・中学生)
科学展示室	410円 (330円)	100円 (80円)	100円 (80円)
プラネタリウム	500円 (400円)	350円 (280円)	250円 (200円)
全天周映画	500円 (400円)	350円 (280円)	250円 (200円)

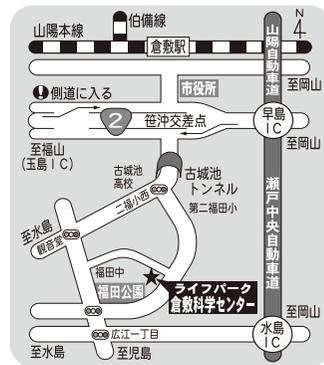
幼児は無料（ただし大人の保護者同伴のこと）
下段は団体料金（20名以上）

●開館時間 9：00～17：15

●休館日 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

●交通

- ・国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ・瀬戸中央自動車道 水島ICから車で15分
(広江一丁目交差点で右折後、最初の信号を右折)
- ・駐車場 430台（無料）
- ・JR倉敷駅より下電バス大高経由JR児島駅行で25分
「ライフパーク倉敷西入口」下車・徒歩20分



ライフパーク倉敷

倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町新田940ライフパーク倉敷内(福田公園北隣)

TEL (086) 454-0300



Web: 倉敷科学センター

検索

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。